

白石温麺製造元 直営お食事処の開店支援

住所	宮城県白石市本町46	資本金	2,000万円
代表者	吉見光宣	従業員数	19名
創業年	明治30年9月	売上高	2億7,000万円(平成26年10月期)
業種	製造販売業(白石温麺の製造販売)		
TEL	0224-26-2484	URL	http://tsurigane.com/

事業概要(被災前)

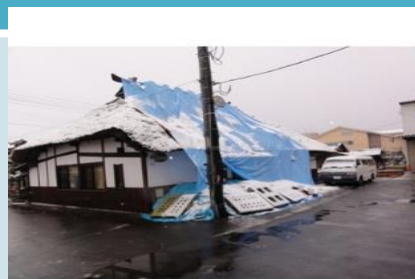
- ・白石温麺の由来は今から400年ほど昔に始まる。
- ・吉見家は片倉小十郎の家臣として長い間仕えたことから、片倉家の旗印である「つりがね」(「天下に鳴り響くように」との願い込めて)を商標として使用。
- ・白石温麺の生産、販売のトップ企業。
- ・代々続く、原料の粉へのこだわり・熟成、機械だけに頼らない昔ながらの製法、コストを意識しない商品開発が特徴。



(株)きちみ製麺の外観

被災概要

- ・工場のほか、事務所と従業員の休憩施設の壁や茅葺屋根(写真)が被災した。
- ・建屋の修理、生産ラインの組み直しを実施して、震災から3週間後に生産を再開した。



復興に向けた状況や課題

- ・震災後の営業再開後暫くは売上高は堅調であったが、最近では売上減少傾向が続く。(地方のブランド乾麺の進出により、地元スーパー等においても棚の確保が厳しい状況)
- ・白石温麺のブランド化や業態開発。
- ・白石温麺を中心に提供する直営お食事処の本社敷地内(被災した茅葺屋根の古民家を改装)開業計画の具体化。



震災による白石市内の被災状況



支援テーマと内容

白石温麺お食事処の開店に向けての支援

- ・事業計画策定支援
現状分析(競合店分析)、事業コンセプト、店舗コンセプト、メニュー・価格戦略、店舗運営、売上予測、損益予測支援。
- ・店舗開発支援
プロモーション計画、新店舗オープンスケジュール策定支援。

支援の成果

白石温麵の直営
お食事処「光庵」



内部(29席)

三味温麵(めんつゆ、ゴマ
だれ、くるみだれ)



とろ玉温麵



味見所「光庵」で温麵のおいしさを体験してもらい、隣接する直売所で購入していただくスキーム。



直売所の売り上げアップ(15%)

支援の成果

直営 味見処「光庵」開店 平成26年5月
平成26年(初年度)においては目標売上高を概ね達成。



茅葺屋根の外観
敷地内の約300年前に建てられ
た武家屋敷を改装

今後の事業展開

- ・味見処「光庵」の初年度経営状況の実績を踏まえ、売上げ、利益確保、経費縮減のため、運営体制のブラッシュアップを実施する。
- ・温麵業界は他社との激しい価格競争の結果、スーパーマーケットへの卸価格が下落傾向にあり、現状の商品ラインナップでは利益確保が難しい状況となっているため、光庵ブランドを構築し、白石温麵の付加価値を高めていく必要がある。
- ・東北圏内のみならず、首都圏への販路を拡大するため無添加つゆ、わかめ温麵、地場産小麦を使用した手延べ温麵、温かくてもおいしい温麵等、より魅力的な新商品開発を積極的に取り組む。
- ・また、各国の食文化や商取引慣習等を研究し、英語版のホームページを制作することで、海外への販路拡大を目指す。

事業者からのコメント

- ・光庵は単なる飲食店ではなく、温麵のおいしさを実際に体験してもらう機会を増やすために整備しました。
- ・光庵オープン後、温麵本来のおいしさを理解していただいたお客様が増えた関係で、直売所の売上げは15%(約300万円)伸びました。
- ・新店舗オープンまで時間的余裕が無い中、今回の復興支援アドバイザーによる支援を通して飲食店舗運営に関する様々なことを学ぶことが出来ました。
- ・温麵業界を取り巻く環境は依然厳しいままですが、光庵ブランドを構築し、より付加価値の高い商品を開発し続けることで、今後も経営改善に取り組んでいきたいと考えております。
- ・中小機構には引き続きご支援をよろしくお願いいたします。



株式会社きちみ製麵
代表取締役社長 吉見光宣氏

震災復興支援アドバイザーからのコメント

- ・同社は白石地区特産の「白石温麵」の一番の老舗であり、同社の復興は白石の復興の代名詞になるという事から、特に思いを込めて担当させていただきました。
- ・平成26年5月の「光庵」の開店は、白石温麵のブランド化という意味で、大変意義のある事であり、企業価値を向上させる効果があり、ひいては白石地区の復興を加速させる足掛かりになると思われます。
- ・事業が順調に推移するまでにはまだ課題が散見されますが、一つ一つ解決策を共に考えていきたいと思っております。
- ・今後ともよろしく願っています。



震災復興支援アドバイザー
営業コンサルタント
西村 哲雄